

これにより急性期から看護師主導の口腔ケアが積極的に行われているものの、急性期を脱し経口摂取が始まると、義歯の不適合など歯科治療の必要性が顕在化し歯科を受診するケースが多く、早期の歯科受診の必要性が示唆された。

また摂食に対する援助及び QOL を高める口腔ケアを効率よく進めるには、入院患者の口腔機能の的確な評価をできるかぎり早期に行う必要があることが示唆された。

そこで平成 14 年度は脳血管障害発症直後の患者に対する口腔機能の評価がどのように行われているかを把握する目的で平成13年度のアンケート調査に回答した病院に対し再度アンケート調査を行った。これにより入院期間の短い病院ほど、義歯を早期から使用させている傾向があり、口腔機能の評価を行い、義歯を積極的に使用させている施設では早期に経口摂取が開始される傾向があった。また歯科と歯科衛生に関する情報が多い病院および、口腔ケアを積極的に行い、それに関心のある施設ほど、口腔機能の評価を行っていたという調査結果を得た。

つまり口腔ケアや口腔機能に対するケアやケアが早期に適切に行われることにより、患者は早期にリハビリテーション可能となり、自立やより質の高い生活を早期に獲得できるということになる。これは医療経済的立場からだけでなく、国家資源の維持増進の立場からも注目すべきことと思われる。

次にこれら急性期を脱した者の生活

の場は回復期、慢性期を経過し、在宅へと移行していく。その中で口腔の機能を維持・回復させ生活の質をより向上させていくためには、急性期、回復期、慢性期、在宅へと口腔ケアならびに、口腔機能回復に対する働き掛けが、有機的に連携していかなければリハビリテーションを十分に得ることは出来ない。つまり患者がそれぞれの時期を過ごす病院ならびに施設、在宅のいずれか一つでも口腔ケアや口腔機能回復に対する対応や認識が大きく異なったり、低かったりした場合、リハビリテーションは遅延するばかりか頓挫、逆行する可能性を秘めている。

そこで本年度は急性期を脱した患者が生活を営む、介護老人福祉施設、介護老人保健施設、指定介護療養型医療施設、グループホームを対象に、口腔ケアに対する意識、口腔ケアに関する知識、口腔ケアの現状、歯科医療との関係を把握する目的で調査を行った。

B. 研究方法

無作為抽出した 4000 施設に対し、質問紙を用い口腔ケアに関するアンケート調査を行った。

(1) アンケート調査項目

- ① 施設の状況
- ② 入所者の状況
- ③ 口腔ケアに対する意識
- ④ 口腔ケアに関する知識
- ⑤ 口腔ケアの現状
- ⑥ 歯科医療との関係

以上6項目29設問(資料1)

(2) アンケート実施方法

1) 調査対象

対象標本は福祉情報ネットワーク「遊楽」：<http://www.u-raku.co.jp/index.htm>の検索により「介護老人福祉施設」、「介護老人保健施設」、「介護療養型医療施設」、「グループホーム」の4つのキーワードにて抽出された15722施設、母集団構成は以下の通り

- ・ 介護老人福祉施設：5068 施設
- ・ 介護老人保健施設：3008 施設、
- ・ 介護療養型医療施設 4034 施設
- ・ グループホーム：3612 施設

2) 調査票発送数

キーワードごとに母集団から1000施設を無作為系統抽出し、合計4000施設に対し、各施設の事業主および施設長あてに調査票を郵送し、郵送にて回収した。

3) 調査方法

調査票発送数：4000 施設

調査票発送 2003年11月15日

回収締め切り 2003年12月10日

本項ではアンケート結果を歯科医療従事者の勤務する施設としていない施設に分けて集計し、分析を行った。

C. 結果

常勤・非常勤を問わず歯科医師、歯科衛生士が勤務する161施設(9.4%) (以下歯科群)から回答が得られた。以後設問ごとにこの161施設とそれ以外の1552施設(90.6%) (以下対照群)の集計結果と両施設間の統計学的検討結果を示す。

(1) 施設種別回答施設数

歯科群(161施設)の施設種別の構成は

① 介護老人福祉施設：66 施設(41.0%)

② 介護老人保健施設：38 施設(23.6%)

③ 指定介護療養型医療施設：療養型病床群を有する病院：30 施設(18.6%)

④ 指定介護療養型医療施設：療養型病床群を有する診療所：2 施設(1.2%)

⑤ 指定介護療養型医療施設：老人性痴呆疾患療養病棟を有する病院：1 施設(0.6%)

⑥ グループホーム：20 施設(12.4%)

⑦ 無回答 回答施設：4施設(2.5%)

対照群(1552 施設)の施設種別の構成は

① 介護老人福祉施設：439 施設(28.3%)

② 介護老人保健施設：376 施設(24.2%)

③ 指定介護療養型医療施設：療養型病床群を有する病院：137 施設(8.8%)

④ 指定介護療養型医療施設：療養型病床群を有する診療所：57 施設(3.7%)

⑤ 指定介護療養型医療施設：老人性痴呆疾患療養病棟を有する病院：8 施設(0.5%)

⑥ グループホーム：493 施設(31.8%)

⑦ 無回答 回答施設：42 施設(2.7%)

歯科群では介護老人福祉施設の割合が高く、対照群ではグループホームと介護老人福祉施設の割合が高いという結果であった(表5-1)。

(2) 専門職員数

歯科群の常勤の専門職員数の平均±標準偏差は56.9±75.1人、対照群は27.5±27.1人であった(表5-2)。

歯科群の非常勤の専門職員数の平均±標準偏差は 9.1±9.9 人、対照群は 4.7±8.0 人であった。

歯科群は対照群より有意に専門職員数は多い(表5-3)。

(3)入所者(入居者)数

歯科群の入所者(入居者)数の平均±標準偏差は 83.1±96.7 人、対照群は 51.7±70.3 人であった。

歯科群は対照群より有意に入所者(入居者)数は多い(表5-4)。

介護度別に比較したところ

A)要介護度1

歯科群の要介護度1の入所者(入居者)数の平均±標準偏差は 6.8±8.0 人、対照群は 5.6±6.6 人であった(表5-5)。

B)要介護度2

歯科群の要介護度2の入所者(入居者)数の平均±標準偏差は 10.5±10.4 人、対照群は 8.44±13.6 人であった(表5-6)。

C)要介護度3

歯科群の要介護度3の入所者(入居者)数の平均±標準偏差は 14.2±12.9 人、対照群は 10.6±21.3 人であった(表5-7)。

D)要介護度4

歯科群の要介護度4の入所者(入居者)数の平均±標準偏差は 21.9±23.3 人、対照群は 13.6±23.0 人であった(表5-8)。

E)要介護度5

歯科群の要介護度5の入所者(入居者)数の平均±標準偏差は 23.4±29.2 人、対照群は 12.4±15.3 人であった(表

5-9)。

1. 「口臭や口腔内の清掃不良が介護の妨げになると思うか」との問いに対し歯科群では「妨げになる」と回答した施設が 147 施設(91.3%)で「ならない」と回答した施設 12 施設(7.5%)であった。対照群では「妨げになる」と回答した施設が 1341 施設(86.4%)で「ならない」と回答した施設 175 施設(11.3%)であった。両群間に有意な差は認められなかった(表5-10)。

2. 「口腔ケア」という用語を知っているかとの問いに対し歯科群では「知っている」と回答した施設が 161 施設(100.0%)で「知らない」と回答した施設 0 施設であった。対照群では「知っている」と回答した施設が 1545 施設(99.5%)で「知らない」と回答した施設 3 施設(0.2%)であった。両群間に有意な差は認められなかった(表5-11)。

3. 「入所者(入居者)の口腔ケアの必要性を感じるか」との問いに対し「必要性を感じる」と回答した施設は 161 施設(100.0%)で「必要性を感じない」と回答した施設 0 施設であった。対照群では「必要性を感じる」と回答した施設が 1545 施設(99.5%)で「必要性を感じない」と回答した施設 3 施設(0.2%)であった。両群間に有意な差は認められなかった(表5-12)。

4. ①洗浄(うがいのみ)、②ガーゼなどの清拭、③歯ブラシによる清掃、④歯ブラシと糸ようじ、歯間ブラシなどの補助具による清掃、⑤歯石除去、⑥粘膜ブラシ、舌ブラシによる清掃、⑦入れ歯の

清掃、⑧入れ歯の調整、⑨その他、の9項目を実際に挙げて、日常的に出来る「口腔ケア」には、どのような方法があるかについて質問したところ、歯科群では①洗浄(うがいのみ)153施設(95.0%)、②ガーゼなどの清拭148施設(91.9%)、③歯ブラシによる清掃158施設(98.1%)、④歯ブラシと糸ようじ、歯間ブラシなどの補助具による清掃122施設(75.8%)、⑤歯石除去69施設(42.9%)、⑥粘膜ブラシ、舌ブラシによる清掃130施設(80.7%)、⑦入れ歯の清掃158施設(98.1%)、⑧入れ歯の調整88施設(54.7%)、⑨その他14施設(8.7%)の施設が日常的にできる「口腔ケア」であると回答した。

対照群では①洗浄(うがいのみ)1450施設(93.4%)、②ガーゼなどの清拭1381施設(89.0%)、③歯ブラシによる清掃1527施設(98.4%)、④歯ブラシと糸ようじ、歯間ブラシなどの補助具による清掃1121施設(72.2%)、⑤歯石除去547施設(35.2%)、⑥粘膜ブラシ、舌ブラシによる清掃1071施設(69.0%)、⑦入れ歯の清掃1532施設(98.7%)、⑧入れ歯の調整841施設(54.2%)、⑨その他93施設(6.0%)の施設が日常的にできる「口腔ケア」であると回答した。

両群間に有意な差は認められなかった(表5-13)。

5. ①口腔疾患の予防(う蝕、歯周病など)、②呼吸器感染症予防(誤嚥性肺炎等)、③摂食・嚥下障害の改善、④口腔内爽快感、口腔感覚の向上、⑤栄養状態の改善、⑥平衡能力の改善(転倒、骨折予防)、⑦言語の明瞭化、⑧口臭

予防、⑨コミュニケーションの改善、⑩閉じこもり予防、⑪その他の11項目を挙げて「口腔ケア」の期待される効果について質問を行ったところ

歯科群では①口腔疾患の予防(う蝕、歯周病など)157施設(97.5%)、②呼吸器感染症予防(誤嚥性肺炎等)153施設(95.0%)、③摂食・嚥下障害の改善149施設(92.5%)、④口腔内爽快感、口腔感覚の向上149施設(92.5%)、⑤栄養状態の改善117施設(72.7%)、⑥平衡能力の改善(転倒、骨折予防)39施設(24.2%)、⑦言語の明瞭化114施設(70.8%)、⑧口臭予防157施設(97.5%)、⑨コミュニケーションの改善106施設(65.8%)、⑩閉じこもり予防43施設(26.7%)、⑪その他6施設(3.7%)との結果であった。

対照群では①口腔疾患の予防(う蝕、歯周病など)1510施設(97.3%)、②呼吸器感染症予防(誤嚥性肺炎等)1425施設(91.8%)、③摂食・嚥下障害の改善1395施設(89.9%)、④口腔内爽快感、口腔感覚の向上1397施設(90.0%)、⑤栄養状態の改善1092施設(70.4%)、⑥平衡能力の改善(転倒、骨折予防)270施設(17.4%)、⑦言語の明瞭化981施設(63.2%)、⑧口臭予防1496施設(96.4%)、⑨コミュニケーションの改善914施設(58.9%)、⑩閉じこもり予防388施設(25.0%)、⑪その他27施設(1.7%)との結果であった。

両群間に有意な差は認められなかった(表5-14)。

6. ①時間不足、②設備の不備(洗面、吸引装置、照明など)、③口腔ケア用具

不足、④方法に関する知識不足、⑤スタッフの理解不足、⑥要介護者の身体的問題、⑦要介護者の非協力、⑧その他、の 8 項目を挙げて「口腔ケア」を実施する上で問題になっていること、また問題になると予想されることは何かと質問したところ(複数回答 3 つまで)

歯科群では①時間不足 85 施設(52.8%)、②設備の不備(洗面、吸引装置、照明など) 43 施設(26.7%)、③口腔ケア用具不足 34 施設(21.1%)、④方法に関する知識不足 74 施設(46.0%)、⑤スタッフの理解不足 58 施設(36.0%)、⑥要介護者の身体的問題 65 施設(40.4%)、⑦要介護者の非協力 85 施設(52.8%)、⑧その他 6 施設(3.7%)、との結果であった。

対照群では①時間不足 630 施設(40.6%)、②設備の不備(洗面、吸引装置、照明など) 327 施設(21.1%)、③口腔ケア用具不足 292 施設(18.8%)、④方法に関する知識不足 736 施設(47.4%)、⑤スタッフの理解不足 503 施設(32.4%)、⑥要介護者の身体的問題 624 施設(40.2%)、⑦要介護者の非協力 876 施設(56.4%)、⑧その他 52 施設(3.4%)、との結果であった。

両群間に有意な差は認められなかった(表5-15)。

7. 「入所者(入居者)への基本的な介護計画に口腔ケアがはいっているか」との問いに対し「入っている」と回答した施設は歯科群では 153 施設(95.0%)、「入っていない」と回答した施設 5 施設(3.1%)、対照群では「入っている」と回答した施設は 1415 施設(91.2%)、「入

っていない」と回答した施設は 104 施設(6.7%)であった。

両群間に有意な差は認められなかった(表5-16)。

8. 「入所者(入居者)への基本的な介護計画に口腔ケアがはいっているか」との問いに対し「入っている」と回答した施設のうち「入所者(入居者)に対して、たてられた基本的な介護計画における口腔ケアを実施できていますか。」との問いに対し「ほぼ実施できている」と回答した施設は歯科群で 111 施設(72.5%)、対照群で 999 施設(70.6%)であった。「半数位は実施できている」と回答した施設は歯科群で 39 施設(25.5%)、対照群で 377 施設(26.6%)であった。「ほとんど実施できていない」と回答した施設は歯科群で 1 施設(0.7%)、対照群で 25 施設(1.8%)であった。

両群間に有意な差は認められなかった(表5-17)。

9. 「施設内で利用している口腔ケアのマニュアルがありますか。」との問いに対し「ある」と回答した施設は歯科群で 56 施設(36.6%)、対照群で 354 施設(25.0%)であった。

歯科群の方が対照群より有意に口腔ケアマニュアルが「ある」と回答した施設が多かった(表5-18)。

10. 「入所者(入居者)のどのような状態の方に口腔ケアを実施しますか。」との問いに対し「自分で歯磨きできる方」と回答した施設は歯科群で 70 施設(45.8%)、対照群で 674 施設(47.6%)であった。「手伝いがあれば歯磨きでき

る方」と回答した施設 143 施設 (93.5%)、対照群で 1306 施設 (92.3%) であった。「自分で全く歯磨きできない方」と回答した施設は 143 施設 (93.5%)、対照群で 1264 施設 (89.3%) であった。両群間に有意な差は認められなかった (表5-19)。

11. 「口腔ケア」を介助する際の主な担当者はどなたですか」との問いに対し「介護職員」と回答した施設は歯科群で 142 施設 (92.8%)、対照群で 1364 施設 (96.4%) であった。「保健師・看護師」と回答した施設は歯科群で 61 施設 (39.9%)、対照群で 548 施設 (38.7%) であった。「歯科衛生士」と回答した施設は歯科群で 38 施設 (24.8%) であった。歯科群では対照群より「口腔ケア」を介助する際の主な担当者に「歯科衛生士」を挙げた施設の割合が有意に多かった (表5-20)。

12. 「口腔ケアの回数」について尋ねたところ歯科群は平均±標準偏差は 2.6 ±1.0 回、対照群では 2.6 ±0.9 回でほとんど差はみられなかった。

「口腔ケアの回数について」尋ねたところ「1 日 1 回」と回答した施設は歯科群で 25 施設 (16.3%)、対照群で 201 施設 (14.2%) であった。「1 日 2 回」と回答した施設 34 施設 (22.2%)、「1 日 3 回」と回答した施設は歯科群で 75 施設 (49.0%)、対照群で 741 施設 (52.4%) であった。「1 日 4 回以上」と回答した施設は歯科群で 14 施設 (9.2%)、対照群で 124 施設 (8.8%) であった。

それでも両群間に有意な差は認められなかった (表5-21)。

13. 「口腔ケアの実施時間」尋ねたところ「起床時」と回答した施設は歯科群で 23 施設 (15.0%)、対照群で 327 施設 (23.1%) であった。「朝食後」と回答した施設は歯科群で 106 施設 (69.3%)、対照群で 931 施設 (65.8%) であった。「昼食後」と回答した施設は歯科群で 106 施設 (69.3%)、対照群で 925 施設 (65.4%) であった。「夕食後」と回答した施設は歯科群で 114 施設 (74.5%)、対照群で 1085 施設 (76.7%) であった。「夜 (就寝前)」と回答した施設は歯科群で 22 施設 (14.4%)、対照群で 264 施設 (18.7%) であった。

両群間に有意な差は認められなかった (表5-22)。

14. 入所者の食事について尋ねたところ「すべて経口摂取の入所者」と回答した施設は歯科群で 33 施設 (21.6%)、対照群で 586 施設 (41.4%) であった。「経口摂取と非経口摂取の入所者が混在」と回答した施設は歯科群で 118 施設 (77.1%)、対照群で 808 施設 (57.1%) であった。

歯科群の施設のほうが対照群より「経口摂取と非経口摂取の入所者が混在」と回答した施設の割合が多かった (表5-23)。

15. 経口摂取を行っている方で自分の歯がある方の口腔ケアの方法について尋ねたところ「特に行っていない」と回答した施設は歯科群で 0 施設、対照群で 7 施設 (0.5%) であった。「洗浄 (うがい) のみ」と回答した施設は歯科群で 28 施設 (18.3%)、対照群で 253 施設 (17.9%) であった。「ガーゼ等による清

拭」と回答した施設は歯科群で 32 施設 (20.9%)、対照群で 242 施設 (17.1%) であった。「粘膜ブラシや舌ブラシを使用」と回答した施設は歯科群で 36 施設 (23.5%)、対照群で 187 施設 (13.2%) であった。「歯ブラシを使用」と回答した施設は歯科群で 131 施設 (85.6%)、対照群で 1286 施設 (90.9%) であった。「歯ブラシと補助具使用」と回答した施設は歯科群で 50 施設 (32.7%)、対照群で 287 施設 (20.3%) であった。

「粘膜ブラシや舌ブラシを使用」「歯ブラシと補助具使用」の2つの回答において両群間に有意な差が認められ、歯科群のほうが補助具を使用していることが示唆された(表5-24)。

16. 経口摂取を行っている方で自分の歯がない方の口腔ケアの方法について尋ねたところ「特に行っていない」と回答した施設は歯科群で 1 施設 (0.7%)、対照群で 7 施設 (0.5%) であった。「洗浄(うがい)のみ」と回答した施設は歯科群で 78 施設 (51.0%)、対照群で 846 施設 (59.8%) であった。「ガーゼ等による清拭」と回答した施設は歯科群で 108 施設 (70.6%)、対照群で 741 施設 (52.4%) であった。「粘膜ブラシや舌ブラシを使用」と回答した施設は歯科群で 51 施設 (33.3%)、対照群で 336 施設 (23.7%) であった。「歯ブラシを使用」と回答した施設は歯科群で 35 施設 (22.9%)、対照群で 347 施設 (24.5%) であった。「歯ブラシと補助具使用」と回答した施設は歯科群で 12 施設 (7.8%)、対照群で 109 施設 (7.7%) であった。「ガーゼ等による清拭」「粘膜ブラシや

舌ブラシを使用」の2つの回答において両群間に有意な差が認められ、歯科群のほうが補助具を使用していることが示唆された(表5-25)。

17. 経口摂取を行っていない方で自分の歯がある方の口腔ケアの方法について尋ねたところ「特に行っていない」と回答した施設は歯科群で 0 施設、対照群で 3 施設 (0.2%) であった。「洗浄(うがい)のみ」と回答した施設は歯科群で 7 施設 (4.6%)、対照群で 57 施設 (4.0%) であった。「ガーゼ等による清拭」と回答した施設は歯科群で 58 施設 (37.9%)、対照群で 422 施設 (29.8%) であった。「粘膜ブラシや舌ブラシを使用」と回答した施設は歯科群で 37 施設 (24.2%)、対照群で 165 施設 (11.7%) であった。「歯ブラシを使用」と回答した施設は歯科群で 58 施設 (37.9%)、対照群で 433 施設 (30.6%) であった。「歯ブラシと補助具使用」と回答した施設は歯科群で 27 施設 (17.7%)、対照群で 130 施設 (9.2%) であった。両群間に有意な差は認められなかった(表5-26)。

18. 経口摂取を行っていない方で自分の歯がない方の口腔ケアの方法について尋ねたところ「特に行っていない」と回答した施設は歯科群で 1 施設 (0.7%)、対照群で 6 施設 (0.4%) であった。「洗浄(うがい)のみ」と回答した施設は歯科群で 14 施設 (9.2%)、対照群で 110 施設 (7.8%) であった。「ガーゼ等による清拭」と回答した施設は歯科群で 103 施設 (67.3%)、対照群で 678 施設 (47.9%) であった。「粘膜ブラシや舌ブラシを使用」と回答した施設は歯科群で

39 施設(25.5%)、対照群で 219 施設(15.5%)であった。「歯ブラシを使用」と回答した施設は歯科群で 10 施設(6.5%)、対照群で 76 施設(5.4%)であった。「歯ブラシと補助具使用」と回答した施設は歯科群で7施設(4.6%)、対照群で 49 施設(3.5%)であった。

両群間に有意な差は認められなかった(表5-27)。

19. 「口腔の目視による口腔ケア実施の確認を行っていますか」との問いに対し「毎日行っている」と回答した施設は歯科群で 88 施設(57.5%)、対照群で 874 施設(61.8%)であった。「週1回程度行っている」と回答した施設は歯科群で21施設(13.7%)、対照群で 153 施設(10.8%)であった。「月1回程度行っている」と回答した施設は歯科群で 14 施設(9.2%)、対照群で 73 施設(5.2%)であった。「実施していない」と回答した施設は歯科群で 26 施設(17.0%)、対照群で 258 施設(18.2%)であった。

両群間に有意な差は認められなかった(表5-28)。

20. 「口腔ケアの確認をする際の担当者はどなたですか」との問いに対し「介護職員」と回答した施設は歯科群で 98 施設(64.1%)、対照群で 1081 施設(76.4%)であった。「保健師・看護師」と回答した施設は歯科群で 59 施設(38.6%)、対照群で 540 施設(38.2%)であった。「歯科衛生士」と回答した施設は歯科群で36施設(23.5%)であった。「歯科医師」と回答した施設は歯科群で 19 施設(12.4%)であった。「していない」と回答した施設は歯科群で 8 施設

(5.2%)、対照群で 97 施設(6.9%)であった。

「歯科衛生士」「歯科医師」の回答を除いて、両群間に有意な差は認められなかった(表5-29)。

21. 入れ歯の清掃の方法について尋ねたところ「特に行っていない」と回答した施設は歯科群で 0 施設、対照群で 1 施設(0.1%)であった。「流水で清掃」と回答した施設は歯科群で 57 施設(37.3%)、対照群で 477 施設(33.7%)であった。「ブラシを利用して清掃」と回答した施設は歯科群で 135 施設(88.2%)、対照群で 1237 施設(87.4%)であった。「義歯洗浄剤を使用」と回答した施設は歯科群で 125 施設(81.7%)、対照群で 1151 施設(81.3%)であった。両群間に有意な差は認められなかった(表5-30)。

22. 入れ歯の保管方法について尋ねたところ「特に行っていない」と回答した施設は歯科群で 1 施設(0.7%)、対照群で 45 施設(3.2%)であった。「取り外してそのまま保管している」と回答した施設は歯科群で 9 施設(5.9%)、対照群で 41 施設(2.9%)であった。「水中で保管している」と回答した施設は歯科群で136施設(88.9%)、対照群で1290施設(91.2%)であった。

「水中で保管している」と回答した施設の割合は対照群のほうが有意に高かった(表5-31)。

23. 対照群 1713 施設のうち「協力歯科医療機関を持っていますか」との問いに対し「持っている」と回答した施設は 1348 施設(86.9%)、「持っていない」と

回答した施設は 172 施設 (11.1%) であった (表5-32)。

24. 対照群 1713 施設のうち「協力歯科医療機関を持っていますか」との問いに「持っている」と回答した施設 1348 施設に対し、「過去1年以内に口腔ケアに関して協力歯科医療機関からの情報提供がありましたか」との問いに対し「ある」と回答した施設は 723 施設 (53.6%)、「ない」と回答した施設 593 施設 (44.0%) であった。歯科群 161 施設のうち「過去1年以内に口腔ケアに関して歯科からの情報提供がありましたか」との問いに対し「ある」と回答した施設は 105 施設 (69.1%)、「ない」と回答した施設 41 施設 (27.0%) であった。

歯科群のほうが対照群よりも「過去1年以内に口腔ケアに関して歯科からの情報提供があった」と回答した施設の割合が有意に高かった (表5-33)。

25. 「歯科医師、歯科衛生士による専門的な口腔ケアを実施していますか」との問いに対し「実施している」と回答した施設は歯科群で 95 施設 (59.0%)、対照群で 391 施設 (25.2%) であった。「実施していない」と回答した施設は歯科群で 59 施設 (36.6%)、対照群で 1105 施設 (71.2%) であった。

歯科群のほうが対照群よりも「専門的な口腔ケアを実施している」と回答した施設の割合が有意に高かった (表5-34)。

「実施している」と回答した歯科群 95 施設、対照群 391 施設に対し、年間の歯科医師、歯科衛生士による専門的な口腔ケア実施の回数について尋ねたと

ろ、歯科群は平均±標準偏差は 27.1 ± 29.8 回、対照群では 20.2 ± 32.8 回であった (表5-35)。

26. 「入所者 (入居者) に対して定期的な歯科健診を実施していますか。」との問いに対し「実施している」と回答した施設は歯科群で 62 施設 (38.5%)、対照群で 28.3 施設 (18.2%) であった。「実施していない」と回答した施設は歯科群で 92 施設 (57.1%)、対照群で 1219 施設 (78.5%) であった。

歯科群のほうが対照群よりも「定期的な歯科健診を実施している」と回答した施設の割合が有意に高かった (表5-36)。

「実施している」と回答した歯科群 62 施設、対照群 28.3 施設に対し、年間の定期的な歯科健診の回数について尋ねたところ、歯科群は平均±標準偏差は 7.7 ± 13.4 回、対照群では 8.4 ± 15.9 回であった (表5-37)。

27. 「入所者に歯科治療の必要性が生じた場合どのように対処していますか。(複数回答可)」との問いに対し「家族に連絡」と回答した施設は歯科群で 108 施設 (67.1%)、対照群で 1132 施設 (72.9%) であった。「地域の市町村に連絡」と回答した施設は歯科群で 1 施設 (0.6%)、対照群で 12 施設 (0.8%) であった。「地域の歯科医師会に連絡」と回答した施設は歯科群で 6 施設 (3.7%)、対照群で 69 施設 (4.4%) であった。「協力歯科医療機関に連絡」と回答した施設は歯科群で 131 施設 (81.4%)、対照群で 1202 施設 (77.4%) であった。

両群間に有意な差は認められなかった

(表5-38)。

28. 「この1年間に貴施設内で歯科治療を行ったことがありますか」との問いに対し「ある」と回答した施設は歯科群で138施設(85.7%)、対照群で1028施設(66.2%)であった。「ない」と回答した施設は歯科群で17施設(10.6%)、対照群で475施設(30.6%)であった。

歯科群のほうが有意に「この1年間に貴施設内で歯科治療を行ったことがある」と回答した施設の割合が多かった(表5-39)。

「ある」と回答した歯科群138施設、対照群1028施設に対し、年間の施設内での治療回数について尋ねたところ、歯科群は平均±標準偏差は 60.1 ± 124.7 回、対照群では 28.3 ± 46.2 回であった(表5-40)。

29. 「この1年間に貴施設から通院させて歯科治療を受診したことがありますか。」との問いに対し「ある」と回答した施設は歯科群で92施設(57.1%)、対照群で1084施設(69.8%)であった。「ない」と回答した施設は歯科群で61施設(37.9%)、対照群で425施設(27.4%)であった。

対照群のほうが歯科群より「この1年間に貴施設から通院させて歯科治療を受診したことがありますか。」との問いに対し「ある」と回答した施設の割合は有意に多かった(表5-41)。

「ある」と回答した歯科群92施設、対照群1084施設に対し、年間の施設から通院でおこなった歯科治療の回数について尋ねたところ、歯科群の平均±標準偏差は 16.5 ± 30.4 回、対照群では 14.8

± 32.2 回であった(表5-42)。

30. 「職員に対して定期的に歯科保健に関する教育を実施していますか」との問いに対し「実施している」と回答した施設は歯科群で56施設(34.8%)、対照群で247施設(15.9%)であった。「実施していない」と回答した施設は歯科群で96施設(59.6%)、対照群で1266施設(81.6%)であった。

歯科群のほうが対照群より「職員に対して定期的に歯科保健に関する教育を実施している」と回答した施設の割合は有意に高かった(表5-43)。

D. 考察

常勤・非常勤を問わず歯科医師、歯科衛生士が勤務する161施設とそれ以外の1552施設のアンケート結果を集計し統計学的検討から考察を行った。

両群施設の概要の比較については以下の通りであった。

(1)施設種別回答施設数

歯科群では介護老人福祉施設の割合が高く、対照群ではグループホームと介護老人福祉施設の割合が高い。

(2)専門職員数

歯科群は対照群より専門職員数が多い。

(3)入所者(入居者)数

歯科群は対照群より入所者(入居者)数が多い。

介護度別入所者(入居者)数でもすべての介護度で歯科群が対照群を上回り、介護度も高い傾向がみられた。

次に全施設を対象に行った①口腔ケア

に対する意識、②口腔ケアに関する知識に関する設問結果の比較について示す。

1. 「口臭や口腔内の清掃不良が介護の妨げになると思うか」との問いに対し歯科群、対照群ともほとんどの施設が「妨げになる」と回答し両群間に有意な差は認められなかった。
2. 「口腔ケア」という用語を知っているかとの問いに対し歯科群、対照群ともほとんどの施設が「知っている」と回答し両群間に有意な差は認められなかった。
3. 「入所者(入居者)の口腔ケアの必要性を感じるか」との問いに対し歯科群、対照群ともほとんどの施設が「必要性を感じる」と回答し両群間に有意な差は認められなかった。
4. 日常的に出来る「口腔ケア」について質問したところ、両群間に有意な差は認められなかった。
5. 「口腔ケア」の期待される効果について質問を行ったところ、両群間に有意な差は認められなかった。
6. 「口腔ケア」を実施する上で問題になっていること、また問題になると予想されることは何かと質問したところ両群間に有意な差は認められなかった。
7. 「入所者(入居者)への基本的な介護計画に口腔ケアがはいっているか」との問いに対し歯科群、対照群ともほとんどの施設が「入っている」と回答し両群間に有意な差は認められなかった。

次に前設問の「入所者(入居者)への基本的な介護計画に口腔ケアがはいっているか」との問いに対し「入っている」と

回答した施設 1568 施設を対象に、③口腔ケアの現状に関する設問の結果に関し歯科群と対照群との比較について示す。

8. 「入所者(入居者)に対して、たてられた基本的な介護計画における口腔ケアを実施できていますか。」との問いに対し「ほぼ実施できている」と回答した施設は歯科群で 72.5%、対照群で 70.6% 「半数位は実施できている」と回答した施設は歯科群で 25.5%、対照群で 26.6%であった。両群間に有意な差は認められなかった。
9. 「施設内で利用している口腔ケアのマニュアルがありますか。」との問いに関しては歯科群の方が対照群より有意に口腔ケアマニュアルが「ある」と回答した施設が多かった。これは歯科群の施設のほうが規模が大きく、医療介護の効率化が求められているためと思われる。
10. 「入所者(入居者)のどのような状態の方に口腔ケアを実施しますか。」との問いに関して両群間に有意な差は認められなかった。
11. 「口腔ケア」を介助する際の主な担当者はどなたですか」との問いに対し、歯科群、対照群ともほとんどの施設が「介護職員」と回答していた。歯科群においては 36 施設で歯科衛生士が主担当者として回答されており、歯科衛生士の積極的な介入が示唆された。常勤、非常勤に関わらず歯科衛生士が勤務している施設は 88 施設あり、残りの 52 施設での歯科衛生士の口腔ケアに対する役割は興味あるところである。
12. 「口腔ケアの回数」に関して歯科群、

対照群の間に有意な差は認められなかった。

13. 「口腔ケアの実施時間」についても両群間に有意な差は認められなかった。

14. 入所者の食事については歯科群のほうが対照群より「経口摂取と非経口摂取の入所者が混在」と回答した施設の割合が多く、歯科群のほうが介護度の高い入所者が多いことを裏付けている。

15. 経口摂取を行っている方で自分の歯がある方の口腔ケアの方法については「粘膜ブラシや舌ブラシを使用」「歯ブラシと補助具使用」の2つの回答において両群間に有意な差が認められ、歯科群のほうが補助具を使用していることが示唆された。

16. 経口摂取を行っている方で自分の歯がない方の口腔ケアの方法については「ガーゼ等による清拭」「粘膜ブラシや舌ブラシを使用」の2つの回答において両群間に有意な差が認められ、歯科群のほうが補助具を使用していることが示唆された。

17. 経口摂取を行っていない方で自分の歯がある方の口腔ケアの方法については両群間に有意な差は認められなかった。

18. 経口摂取を行っていない方で自分の歯がない方の口腔ケアの方法については両群間に有意な差は認められなかった。

以上口腔ケア方法に関して、歯科群と対照群との間に違いが認められたのは経口摂取を行っている入所者に関してであった。つまり経口摂取を行っておら

ず、歯科的問題が顕在化しにくい入所者は、歯科医療従事者の目に触れることが少なく、口腔ケアに関してあまり歯科医療従事者が介入することはないという可能性が示唆される。

19. 「口腔の目視による口腔ケア実施の確認を行っていますか」との問いに対し両群間に有意な差は認められなかった。

20. 「口腔ケアの確認をする際の担当者とはどなたですか」との問いに対し歯科群、対照群とも「介護職員」と回答した施設が多く、「歯科衛生士」「歯科医師」という回答を除いて両群間に有意な差は認められなかった。

21. 入れ歯の清掃の方法については歯科群、対照群とも「ブラシを利用して清掃」、「義歯洗浄剤を使用」と回答した施設が多く、両群間に有意な差は認められなかった。

22. 入れ歯の保管方法について「水中で保管している」と回答した施設の割合は対照群のほうが有意に高かった。これにより歯科群において、歯科医療従事者からの情報が主たる口腔ケア担当者である介護職員に対しあまり浸透していない可能性が示唆された。

次の④歯科医療との関係についての設問は全回答施設(1713 施設)に対して回答を求めた。

23. 対照群 1713 施設のうち協力歯科医療機関を持っていないと回答した施設は 172 施設(11.1%)であった。

24. 対照群のうち協力歯科医療機関を「持っている」と回答した施設と歯科群

に対し、口腔ケアに関する情報提供があったかと尋ねたところ歯科群のほうが対照群よりも「歯科からの情報提供があった」と回答した施設の割合が有意に高かった。つまり歯科医療従事者のいる施設のほうが協力歯科医療機関を持つ施設よりも口腔ケアに関する情報提供がなされているということになる。

25. 「歯科医師、歯科衛生士による専門的な口腔ケアを実施していますか」との問いに関しては歯科群のほうが対照群よりも「専門的な口腔ケアを実施している」と回答した施設の割合が有意に高かった。これは施設内に歯科医療従事者がいるほうが専門的な口腔ケアが実施されやすいためと考えられる。これは実施回数にも反映されており、歯科群のほうが対照群より多く実施されていた。

26. 「入所者(入居者)に対して定期的な歯科健診を実施していますか。」との問いに対しては歯科群のほうが対照群よりも「定期的な歯科健診を実施している」と回答した施設の割合が有意に高かった。これも施設内に歯科医療従事者がいるほうが歯科健診が実施されやすいためと考えられる。年間の定期的な歯科健診の回数については対照群のほうが多かった。これは対照群では訪問での検診となるため短時間で行う必要があり、そのため回数が増えるためと思われる。

27. 「入所者に歯科治療の必要性が生じた場合どのように対処していますか。」との問いに関しては両群とも「家族に連絡」「協力歯科医療機関に連絡」と回答

した施設が多く、両群間に有意な差は認められなかった。

28. 「この1年間に貴施設内で歯科治療を行ったことがありますか」との問いに対しては歯科群のほうが有意に「歯科治療を行ったことがある」と回答した施設の割合が多かった。またその回数についても歯科群のほうが有意に多かった。

29. 「この1年間に貴施設から通院させて歯科治療を受診したことがありますか。」との問いに関しては対照群のほうが歯科群より「通院させて歯科治療を受診したことがある」と回答した施設の割合は有意に多かった。しかしその回数については両群間に大きな違いはみられなかった。これは施設規模が歯科群のほうが大きいためとも考えられるが、歯科医療従事者の存在により、施設内で対応できないような歯科治療の必要性が顕在化しやすいためと思われる。

30. 「職員に対して定期的に歯科保健に関する教育を実施していますか」との問いに関しては歯科群のほうが対照群より「職員に対して定期的に歯科保健に関する教育を実施している」と回答した施設の割合は有意に高かった。

E. 結論

歯科医療従事者の存在がアンケート結果にどのように影響しているか検討するため、常勤・非常勤を問わず歯科医師、歯科衛生士が勤務する161施設(以下歯科群)とそれ以外の1552施設のアンケート結果を集計し統計学的検討を行った。

口腔ケアの主担当者は歯科群、対照群ともほとんどの施設が「介護職員」と回答していた。歯科群において歯科衛生士が主担当者である施設も認められたが、歯科衛生士が勤務していても介護職員が主担当者である施設が多いことが分かった。

口腔ケアの方法については経口摂取を行っている方で自分の歯がある方と自分の歯がない方に関して、歯科群のほうが補助具を使用していることが有意に多いという結果が得られた。つまり経口摂取を行っている方の場合は歯科医療従事者からの情報提供がなされていると考えられた。しかし、経口摂取を行っていない方への口腔ケア方法については自分の歯のあり、なしに関わらず両群間で有意な差は認められなかった。つまり経口摂取を行っておらず、歯科的問題が顕在化しにくい入所者は、歯科医療従事者の目に触れることが少なく、口腔ケアに関してあまり歯科医療従事者が介入することはないという可能性が示唆された。

入れ歯の清掃の方法については両群間に有意な差は認められなかったが、入れ歯の保管方法については対照群のほうが「水中に保管する」との回答が多く、適当であった。このことは歯科群において、歯科医療従事者からの情報が主たる口腔ケア担当者である介護職員に対しあまり浸透していない可能性を示唆するものと思われる。

口腔ケアに関する情報提供や専門的な口腔ケア実施、定期的な歯科健の実施、施設内での歯科治療については、すべ

て歯科群のほうが多くなされていた。これは歯科医療従事者の勤務する施設の方がこれらのサービスが提供され易いためと思われる。

通院での歯科治療に関しては対照群のほうが多かった。しかしその回数については両群間に大きな違いはみられなかった。これは歯科医療従事者の存在により、施設内で対応できないような歯科治療の必要性が顕在化しやすいためと思われる。

職員に対する定期的に歯科保健に関する教育の実施に関しては歯科群のほうが実施しているとの結果であった。

以上のように歯科群と対照群とを各設間において比較検討したが、有意な差が認められた項目は少なかった。これは施設に勤務する歯科医療従事者のこれらの分野に関する積極的介入が十分でないためと思われる。今後、施設に勤務する歯科医療従事者の積極的介入が望まれるとともに、協力歯科医療機関の口腔ケアに関する情報提供と積極的な介入が期待され、これらを促すための法制度の整備が必要と思われる。

F. 健康危険情報

なし

G. 研究発表

なし

H. 知的財産の出願・登録状況

なし

表5-1

P < 0.05

	施設の種類							合 計
	介護老人福 祉施設	介護老人保 健施設	療養型病床群 を有する病院	療養型病床群を有 する診療所	老人性痴呆疾患療養病 棟を有する病院	グループ ホーム	無回答	
歯科医療従事者 のいる施設	66	38	30	2	1	20	4	161
それ以外の施設	439	376	137	57	8	493	42	1552
合計	505	414	167	59	9	513	46	1713
	施設の種類							合 計
	介護老人福 祉施設	介護老人保 健施設	療養型病床群 を有する病院	療養型病床群を有 する診療所	老人性痴呆疾患療養病 棟を有する病院	グループ ホーム	無回答	
歯科医療従事者 のいる施設	41.0%	23.6%	18.6%	1.2%	0.6%	12.4%	2.5%	100.0%
それ以外の施設	28.3%	24.2%	8.8%	3.7%	0.5%	31.8%	2.7%	100.0%
合計	505	414	167	59	9	513	46	1713

表5-2

P < 0.05

	專門職員級數(常勤)																	總數	合計	
	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6-10人	11-15	16-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100			101人以上
資料處理位專 業的1名職員	0	2	0	4	4	2	8	12	13	26	16	21	8	7	2	2	1	22	10	181
7名以下的專 業	12	33	56	54	42	45	202	129	105	213	171	134	97	48	27	11	10	23	142	1532
合計	12	35	56	58	46	47	211	141	118	239	187	155	105	55	29	12	11	45	152	1713
	專門職員級數(非常勤)																	總數	合計	
	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6-10人	11-15	16-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100			101人以上
資料處理位專 業的1名職員	0.0%	1.2%	0.0%	2.5%	2.5%	1.2%	5.6%	7.5%	8.1%	16.1%	8.9%	13.0%	5.0%	4.3%	1.2%	1.2%	0.6%	13.7%	6.2%	100.0%
7名以下的專 業	0.8%	2.1%	3.6%	3.2%	2.7%	2.9%	13.0%	8.2%	6.6%	13.7%	11.0%	8.6%	6.3%	3.0%	1.7%	0.7%	0.6%	1.3%	8.1%	100.0%
合計	2	2	7	4	7	12	344	43	129	83	35	248	134	50	151	104	172	119	152	1713

表5-3

P < 0.05

	專門職員級數(常勤)																	總數	合計	
	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6-10人	11-15	16-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100			101人以上
資料處理位專 業的1名職員	11	6	20	13	9	13	30	16	15	5	4	4	0	0	0	0	0	4	11	141
7名以下的專 業	411	192	150	120	82	84	197	78	40	31	12	7	0	2	1	2	0	0	141	1552
合計	2	7	4	7	12	344	43	139	83	35	248	134	50	151	104	172	119	59	172	1713
	專門職員級數(非常勤)																	總數	合計	
	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6-10人	11-15	16-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100			101人以上
資料處理位專 業的1名職員	8.9%	3.7%	12.4%	8.1%	3.6%	6.1%	18.8%	9.9%	9.3%	3.1%	2.5%	2.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.7%	6.2%	100.0%
7名以下的專 業	26.5%	12.4%	9.7%	6.4%	5.2%	4.2%	12.0%	5.0%	2.6%	2.0%	0.8%	0.3%	0.0%	0.1%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	10.4%	100.0%
合計	2	7	4	7	12	344	43	139	83	35	248	134	50	151	104	172	119	59	172	1713

表5-4

P < 0.05

	入所者数																	無回答	合計
	1人	2人	3人	4人	5人	6-10	11-15	16-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100	101人以上		
精神医療従事者の 1/5以内	0	0	0	0	0	13	2	6	3	3	25	12	10	25	15	16	23	4	181
それ以外の施設	2	7	4	7	12	33	41	131	78	32	223	122	40	126	89	156	96	55	1552
合計	2	7	4	7	12	344	43	138	83	35	248	134	50	151	104	172	119	59	1712
	入所者数																	無回答	合計
	1人	2人	3人	4人	5人	6-10	11-15	16-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100	101人以上		
精神医療従事者の 1/5以内	0.1%	0.4%	0.2%	0.4%	0.7%	20.1%	2.5%	8.1%	4.8%	2.0%	14.5%	7.8%	2.9%	8.8%	6.1%	10.0%	8.9%	3.4%	100.0%
それ以外の施設	0.1%	0.5%	0.2%	0.5%	0.8%	21.2%	2.6%	8.4%	5.0%	2.1%	14.4%	7.9%	2.6%	8.1%	5.7%	10.1%	8.2%	3.5%	100.0%
合計	2	7	4	7	12	344	43	138	83	35	248	134	50	151	104	172	119	59	1712

表5-5

P < 0.05

	要介護度1																	無回答	合計		
	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6-10	11-15	16-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100			101人以上	
精神医療従事者の 1/5以内	24	20	14	12	9	16	23	20	5	8	3	1	0	0	0	0	0	0	4	161	
それ以外の施設	232	182	183	128	150	101	327	123	67	54	3	2	0	0	0	0	0	0	1	80	1552
合計	257	182	177	128	159	117	352	143	72	42	6	3	0	0	0	0	0	0	1	64	1712
	要介護度1																	無回答	合計		
	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6-10	11-15	16-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100			101人以上	
精神医療従事者の 1/5以内	14.8%	12.4%	8.7%	7.5%	5.8%	9.9%	15.5%	12.4%	3.1%	5.0%	1.9%	0.8%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	2.5%	100.0%	
それ以外の施設	15.0%	10.4%	10.5%	8.1%	9.7%	6.5%	21.1%	7.9%	4.2%	2.2%	0.2%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	3.9%	100.0%	
合計	257	182	177	128	159	117	352	143	72	42	6	3	0	0	0	0	0	0	1	64	1712

表5-6

P < 0.05

	要介護度2																	無回答	合計		
	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6-10	11-15	16-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100			101人以上	
精神医療従事者の 1/5以内	14	8	6	7	4	11	43	30	20	10	1	2	0	0	0	0	1	0	4	181	
それ以外の施設	143	86	142	120	109	76	371	185	152	85	14	2	1	0	0	0	0	0	1	55	1552
合計	157	104	148	127	113	87	414	215	172	95	15	4	1	0	0	0	1	1	59	1712	
	要介護度2																	無回答	合計		
	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6-10	11-15	16-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100			101人以上	
精神医療従事者の 1/5以内	8.7%	5.0%	3.7%	4.3%	2.5%	8.8%	26.7%	18.6%	12.4%	6.2%	0.6%	1.2%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	0.0%	2.5%	100.0%	
それ以外の施設	9.2%	6.2%	9.1%	7.7%	7.0%	4.9%	22.9%	11.9%	9.8%	5.5%	0.9%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	3.5%	100.0%	
合計	157	104	148	127	113	87	414	215	172	95	15	4	1	0	0	0	1	1	59	1712	

表5-7

P < 0.05

	要介護度3																	無回答	合計		
	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6-10	11-15	16-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100			101人以上	
精神医療従事者の 1/5以内	11	3	10	5	3	2	32	34	25	20	8	3	1	1	0	0	0	1	4	181	
それ以外の施設	100	104	138	130	107	87	288	179	159	176	42	7	1	0	0	0	0	0	1	55	1552
合計	111	107	148	135	110	89	318	213	184	196	48	10	2	1	0	0	0	2	59	1712	
	要介護度3																	無回答	合計		
	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6-10	11-15	16-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100			101人以上	
精神医療従事者の 1/5以内	8.8%	1.9%	6.2%	3.1%	1.9%	1.2%	19.8%	21.1%	15.5%	12.4%	3.7%	1.9%	0.6%	0.6%	0.0%	0.0%	0.0%	0.6%	2.5%	100.0%	
それ以外の施設	6.4%	6.7%	8.9%	8.4%	8.9%	4.3%	18.4%	11.5%	10.2%	11.2%	2.7%	0.5%	0.1%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%	3.5%	100.0%	
合計	111	107	148	135	110	89	318	213	184	196	48	10	2	1	0	0	0	2	59	1712	

表5-8

P < 0.05

	要介護度4																	無回答	合計	
	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6-10	11-15	16-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100			101人以上
精神医療従事者の 1/5以内	13	4	4	2	3	0	12	24	20	45	17	5	4	1	0	0	1	2	4	181
それ以外の施設	217	148	108	61	37	22	161	178	225	282	83	21	7	3	3	0	0	2	56	1552
合計	230	150	112	63	40	22	173	202	245	307	110	26	11	4	3	0	1	4	60	1712
	要介護度4																	無回答	合計	
	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6-10	11-15	16-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100			101人以上
精神医療従事者の 1/5以内	8.1%	2.5%	2.5%	1.2%	1.9%	0.0%	7.5%	14.9%	12.4%	28.0%	10.8%	3.1%	2.5%	0.6%	0.0%	0.0%	0.6%	1.2%	2.5%	100.0%
それ以外の施設	14.0%	9.4%	7.0%	3.9%	2.4%	2.1%	8.5%	11.5%	14.5%	18.9%	6.0%	1.4%	0.5%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.1%	3.8%	100.0%
合計	230	150	112	63	40	22	173	202	245	307	110	26	11	4	3	0	1	4	60	1712

表5-9

P < 0.05

	要介護度3																	無回答	合計	
	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6-10	11-15	16-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100			101人以上
精神医療従事者の 1/5以内	15	4	1	3	0	4	22	19	23	36	14	3	1	5	1	0	1	5	4	181
それ以外の施設	380	103	45	28	28	33	185	208	190	185	87	24	8	4	3	3	2	3	59	1552
合計	395	107	46	28	28	37	207	227	213	221	101	27	7	9	4	3	3	8	63	1712
	要介護度3																	無回答	合計	
	0人	1人	2人	3人	4人	5人	6-10	11-15	16-20	21-30	31-40	41-50	51-60	61-70	71-80	81-90	91-100			101人以上
精神医療従事者の 1/5以内	9.2%	2.3%	0.8%	1.9%	0.0%	2.3%	13.7%	11.8%	14.2%	22.4%	8.7%	1.9%	0.8%	3.1%	0.6%	0.6%	3.1%	2.5%	100.0%	
それ以外の施設	24.5%	6.8%	2.9%	1.7%	1.7%	2.1%	10.6%	13.4%	12.2%	11.9%	5.6%	1.5%	0.4%	0.3%	0.2%	0.2%	0.1%	0.2%	3.8%	100.0%
合計	395	107	46	28	28	37	207	227	213	221	101	27	7	9	4	3	3	8	63	1712

表5-10

N. S.

	口臭や清掃不良が介護の妨げになるか			
	なる	ならない	無回答	合計
歯科医療従事者の いる施設	147	12	2	161
それ以外の施設	1341	175	36	1552
合計	1488	187	38	1713
	口臭や清掃不良が介護の妨げになるか			
	なる	ならない	無回答	合計
歯科医療従事者の いる施設	91.3%	7.5%	1.2%	100.0%
それ以外の施設	86.4%	11.3%	2.3%	100.0%
合計	1488	187	38	1713

表5-11

N. S.

	口腔ケアという用語を知っているか			
	はい	いいえ	無回答	合計
歯科医療従事者の いる施設	161	0	0	161
それ以外の施設	1545	3	4	1552
合計	1706	3	4	1713
	口腔ケアという用語を知っているか			
	はい	いいえ	無回答	合計
歯科医療従事者の いる施設	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
それ以外の施設	99.5%	0.2%	0.3%	100.0%
合計	1706	3	4	1713

表5-12

N. S.

	口腔ケアの必要性を感じるか			
	感じる	感じない	無回答	合計
10	161	0	0	161
それ以外の施設	1545	3	4	1552
合計	1706	3	4	1713
	口腔ケアの必要性を感じるか			
	感じる	感じない	無回答	合計
歯科医療従事者のいる施設	100.0%	0.0%	0.0%	100.0%
それ以外の施設	99.5%	0.2%	0.3%	100.0%
合計	1706	3	4	1713

表5-13

N. S.

	日常的にできる口腔ケアを行っているか										
	見守(うがいのみ)	ガーゼなどの清拭	歯ブラシによるケア	歯間ブラシなどの補助具によるケア	歯石除去	結膜ブラシ、舌ブラシによるケア	入れ歯の清掃	入れ歯の調整	その他	全く知らない	合計
歯科医療従事者のいる施設	153	148	158	122	89	130	158	88	14	0	141
それ以外の施設	1430	1381	1527	1121	547	1071	1532	841	93	0	1552
合計	1603	1529	1685	1243	616	1201	1690	929	107	0	1713
	日常的にできる口腔ケアを行っているか										
	見守(うがいのみ)	ガーゼなどの清拭	歯ブラシによるケア	歯間ブラシなどの補助具によるケア	歯石除去	結膜ブラシ、舌ブラシによるケア	入れ歯の清掃	入れ歯の調整	その他	全く知らない	合計
歯科医療従事者のいる施設	85.0%	81.8%	94.1%	75.8%	42.8%	80.7%	98.1%	54.7%	8.7%	0.0%	100.0%
それ以外の施設	93.4%	89.0%	94.4%	72.2%	33.2%	89.0%	98.7%	54.2%	8.0%	0.0%	100.0%
合計	1603	1529	1685	1243	616	1201	1690	929	107	0	1713

表5-14

N. S.

	口腔ケアに期待される効果												
	口腔疾患の予防(口内、歯周炎等)	呼吸器感染症予防(肺炎等)	誤嚥・嚥下障害の改善	口腔内異状感、口腔疾患の防止	栄養摂取の改善	早期療力の改善(転倒、骨折等)	苦痛の軽減	口腔予防	コミュニケーションの改善	認知症予防	その他	全く知らない	合計
歯科医療従事者のいる施設	157	153	149	149	117	39	114	157	106	43	6	0	181
それ以外の施設	1510	1425	1393	1297	1092	270	981	1496	914	288	27	0	1552
合計	1667	1578	1544	1546	1209	309	1095	1653	1020	431	33	0	1713
	口腔ケアに期待される効果												
	口腔疾患の予防(口内、歯周炎等)	呼吸器感染症予防(肺炎等)	誤嚥・嚥下障害の改善	口腔内異状感、口腔疾患の防止	栄養摂取の改善	早期療力の改善(転倒、骨折等)	苦痛の軽減	口腔予防	コミュニケーションの改善	認知症予防	その他	全く知らない	合計
歯科医療従事者のいる施設	97.3%	85.0%	82.5%	82.3%	72.7%	24.2%	70.8%	87.5%	65.8%	28.7%	3.7%	0.0%	100.0%
それ以外の施設	97.3%	81.8%	89.8%	80.0%	70.4%	17.4%	83.2%	96.4%	58.8%	25.0%	1.7%	0.0%	100.0%
合計	1667	1578	1544	1546	1209	309	1095	1653	1020	431	33	0	1713

表5-15

N. S.

	口腔ケアを実施するにあたっての問題点									
	時間不足	設備の不備(鏡、吸引装置等)	口腔ケア用具不足	方法に関する知識不足	スタッフの不足	要介護者の身体的問題	要介護者の非協力	その他	全く知らない	合計
歯科医療従事者のいる施設	85	43	34	74	38	63	85	6	0	181
それ以外の施設	830	327	292	738	500	824	878	32	1	1552
合計	715	370	326	810	541	889	961	38	1	1713
	口腔ケアを実施するにあたっての問題点									
	時間不足	設備の不備(鏡、吸引装置等)	口腔ケア用具不足	方法に関する知識不足	スタッフの不足	要介護者の身体的問題	要介護者の非協力	その他	全く知らない	合計
歯科医療従事者のいる施設	32.8%	28.7%	21.1%	46.0%	34.0%	40.4%	52.8%	3.7%	0.0%	100.0%
それ以外の施設	40.8%	21.1%	18.8%	47.4%	32.4%	40.2%	54.4%	3.4%	0.1%	100.0%
合計	715	370	326	810	541	889	961	38	1	1713

表5-16

N. S.

	介護計画に口腔ケアは入っているか			
	入っている	入っていない	無回答	合計
歯科医療従事者のいる施設	153	5	2	161
それ以外の施設	1415	104	33	1552
合計	1568	109	35	1713
	介護計画に口腔ケアは入っているか			
	入っている	入っていない	無回答	合計
歯科医療従事者のいる施設	93.0%	2.1%	1.8%	100.0%
それ以外の施設	91.2%	6.7%	2.1%	100.0%
合計	1568	109	35	1713

表5-17

N. S.

	口腔ケアを実施できているか				
	ほぼ実施できていない	半数位は実施できている	ほとんど実施できていない	無回答	合計
歯科医療従事者のいる施設	111	39	1	2	153
それ以外の施設	899	377	25	14	1415
合計	1110	416	26	1713	1568
	口腔ケアを実施できているか				
	ほぼ実施できていない	半数位は実施できている	ほとんど実施できていない	無回答	合計
歯科医療従事者のいる施設	72.3%	25.5%	0.7%	1.2%	100.0%
それ以外の施設	70.8%	26.6%	1.8%	1.0%	100.0%
合計	1110	416	26	1713	1568

表5-18

P < 0.05

	口腔ケアマニュアルがあるか			
	ある	ない	無回答	合計
歯科医療従事者のいる施設	36	93	2	133
それ以外の施設	354	1032	29	1415
合計	410	1127	31	1713
	口腔ケアマニュアルがあるか			
	ある	ない	無回答	合計
歯科医療従事者のいる施設	36.8%	62.1%	1.3%	100.0%
それ以外の施設	25.0%	72.8%	2.0%	100.0%
合計	410	1127	31	1713